

# 新入生諸君ようこそ工学部へ

工学研究院長（工学府長・工学部長） 芹川 聖一



## はじめに

九州工業大学工学部に入学した新入生・編入生の皆さん、ならびに大学院工学府に入学した新入生の皆さん、そして保護者の皆様、ご入学を心からお喜び申し上げます。

九州工業大学の起源は、明治42年（1909年）4月に開校した4年制の私立明治専門学校まで遡ります。九州の炭鉱王・安川敬一郎氏が工業教育の向上と地元の工業地帯発展のために巨額の私財を投じて学校を創立しました。日本初の物理学者である山川健次郎先生を総裁として開校し、建学の理念を「技術に堪能なる

士君子」としました。

## 本学の理念と現在の状況

この理念を現在の言葉で言い替えば「技術者として高度な能力と創造性を有し、世界人としての品格を有する社会人」を養成するということとなります。その理念は現在も脈々と生きています。この建学の精神を受け継ぐ多くの皆さんの先輩方が、この学び舎から世界に向けて巣立ち、様々な分野でグローバルに活躍しています。

現在、経済・産業界は、グローバル化が急速に進んでいます。皆さんは、社会に出たら世界中の企業と競争することになります。また、ロボットや人工知能が人間に代わっているような仕事をやってくれるようになりつつあります。現在は、産業用ロボットが主ですが、将来は、家庭、オフィス、あらゆる職場に人工知能を組み込んだロボットが浸透し、人の仕事

を脅かしていくでしょう。このような状況の中、大学で何を学べばよいのでしょうか。

## 大学で何を学ぶべきか

大学の授業は大きく分けると教養教育と専門教育に分類できます。技術者としての倫理観や品位、世界人になるための素養は教養教育で培われます。高度技術者としての能力と獨創性は、専門教育で養われます。特に1年生、2年生の授業は、各学科の基礎科目が揃えてあり、とても重要です。予習復習を十分に行ってください。しかし、これらの授業は勉強のきっかけを与えるだけに過ぎません。皆さん自身が自律的主体的に学び続けることが大切です。

高校時代は、公式を暗記して問題を解いていた人がいるかも知れませんが、しかし、決まった式に当てはめて問題を解いたり、大量のデータを暗記したり処理することは人工知能が最も得意とするところです。大学の授業では、公式を暗記するのではなく、その公式がどのようにして成り立っているのか、それが何に利用できるのか、別の方法がないのか、

自分で考えることが重要です。その中で、論理的思考力、基礎学力を身に付けてください。また、皆さんは社会に出たら、公式には当てはまらない問題や答えがたくさんある問題が出てきます。そのような事象を解決するためには、課題発見力、課題解決力が必要となります。その能力を身につけるための実験、演習、PBL科目や、海外留学の機会を用意しています。これらを活用してぜひ自分の能力を高めてください。

さらに卒業後も自己成長するためには学生時代に何を為すべきでしょうか。そのためには、九州工業大学後援組織「明専会」に参加して人的ネットワークを広げることを是非お勧めします。同窓会を通じた絆により、皆さん方が将来活躍できることは、諸先輩方が既に身をもって示されています。

## おわりに

皆さんが本学での学びにより、「技術に堪能なる士君子」を体得し、世界で躍動する将来を心から祈念します。